

越谷市民祭りで自衛隊を身近に！



埼玉地本（本部長・山本方之1空佐）は9月29日（日）、越谷市役所周辺で行われた第39回越谷市民祭りにおいて、青年会議所協力のもと広報ブースを展開した。

珍しい自衛隊車両の展示に、たくさんの親子連れが集まり、運転席に座って写真を撮ったり、次から次へと質問攻めをするなど、終始賑わっていた。

偽装網がかけられたテントでは、隊員が作成した自衛隊車両のペーパークラフトや南極の氷が展示され、初めて南極の氷を目にした子供達が、耳を近づけパチパチと空気が弾ける音に目を丸くしていた姿が印象的だった。

ミニ迷彩服の試着コーナーは行列が出来るほど好評で、かつこよく敬礼を決めたミニ自衛官から、かつては自衛隊入隊を夢見た？お父さんまで大人気であった。

また埼玉地本のゆるキャラ「サイボン」が登場すると隣のステージで行われたヒーローショーにも負けなくらいの熱気で、瞬く間に子供達に囲まれ、記念撮影をしたり、ハイタッチをする等子供達と触れあっていた。

埼玉地本は今後も地域のイベントに積極的に参加し、効果的な広報活動を実施し、募集基盤の強化を図っていく所存である。

